

希望の子

裏面：令和3年度南小学校「学校経営構想」を載せております。

小林市立南小学校 校長通信

令和3年4月19日 第14号 (文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3520 E-mail:1403eb@miyazaki-c.ed.jp

16日(金)本年度最初の参観日。平日の開催となり、ご迷惑をお掛けいたしました

が、たくさんのご出席ありがとうございました。ありがとうございました。

新しい学年になって七日、新入生はやっと五日ばかりです。まだまだソワソワしているところですが、新鮮な環境の中で目を輝かせる子どもたちの様子をご覧いただけたかと思えます。いろいろ気付かれた点もありかと思いますが、子どもさんには、「いいクラスになって良かったね。」と一言沿えていただくことで、新しい学級への所属感や学校生活の意欲が必ず高まると思えます。

最初の参観日に緊張するのは先生方も同じで、これまで毎日のように夜遅くまで準備していました。これから一年間、よい学級、よい学校をつくるパートナーとしてよろしく願っています。

みんなでつくる学校 その2

新一年生の保護者の皆様、改めてご入学おめでとうござい

ます。そして、校長通信「希望の子」を初めてお読みになる方もおられることでしょう。この通信は校長の勝手な思いを綴っているもので、お知らせや計画、日常の子どもの様子は、うちの優秀な宣伝係(教頭先生や事務の先生)が「南小学校ホームページ」を随時更新しておりますのでご確認ください。

さて、タイトルの「みんなでつくる学校」は、本年度の学校のテーマです。子どもたちには「返事」「あいさつ」「整理整頓」を示して、この3つができる南小づくりを目指して欲しいと伝えました。学校の姿とは、子どもたちの姿そのものです。すべての学校生活の中で「自分たちの南小学校」を意識付け、「自分たちが南小学校をつくっているんだ!」という誇りを実感して欲しいと思います。

「学校の姿は子どもの姿」となれば、指導する先生方には大きなプレッシャーです。

プレッシャーのせいで「自分(先生)たちの指導がどう見られているか?」を過剰に意識してしまうと、肝心の子ども心が見えなくなります。やがて子どもたちは適応できなくなり、保護者の皆さんは心配する・・・という悪循環に陥ってしまうでしょう。

このような状況にならないためのキーワードが「みんな」なのです。「みんな」とは主役の「子ども」、指導する「先生」、サポートする「保護者」、そして支える「地域」です。それぞれが南小学校を自分の学校として思い、お互い足りないところは助け合い、足りないところは補い合いながら、「よりよい自分たちの学校にしていこう」営みが「みんなでつくる学校」の姿です。

そこで、本年度は、「学級や学年、学校をもっとよくするには・・・」という視点に立つて、みなさんの意見を伺う(話し合う)機会を設けます。改めて御案内しますので、言いにくかったことや、遠慮されていたことも、自分たちの学校のために出しましょう。

ここでは、個人への批判はご遠慮ください。みんなが自分の学校(学級・学年)をつくる当事者ですから、みんなで支え、みんなで補って解決していくことが基本です。

昨年度、コロナのために地域との連携が難しい中、「まちづくり協議会」の方々にも大変お世話になりました。もつと学校のために・・・と思っていただいている方もたくさんおられます。このような地域の力も大きな味方です。

「みんなでつくるみんなの南小学校」の実現に御理解と御協力を願っています。

「オリンピック集会」やります! 東京オリンピックを子どもたちの心にも残そうと、水曜(21日10:55~)実際の聖火ランナーである福留健一先生(南小第19代校長)をお招きして集会を開きます。参観もできますが、マスク着用と密にならない配慮をお願いします。

令和3年度 小林市立南小学校 学校経営構想

【小中一貫目標】

自ら目標をもち、主体的に学習に取り組んだり、思いやりの心で接したり、進んで体を鍛えたりすることで、心身ともにたくましい児童生徒を育成する。

関係法規

学習指導要領
県教育基本方針
市教育基本方針

【目指す児童生徒像】

- ①自ら見通しをもって考え、主体的に学び合う児童生徒
- ②思いやりの心を持ち、互いに認め合い、仲良くできる児童生徒
- ③自分のめあてをもち、粘り強く体を鍛える児童生徒
- ④望ましい食習慣や食生活の安全に心がけ、命を大切にする児童生徒
- ⑤地域の人や自然・文化に親しみ、郷土小林を愛する児童生徒

児童の実態
地域の実態
保護者の願い
社会的要請

【学校経営ビジョン】

南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。

【令和3年度スローガン】 「みんなでつくる みんなの南小学校」

教育目標具現化のための目標と方策

主体的な学びと確かな学力

- 分かる・できる授業による学力向上
 - ◎ICT活用による授業改善
 - ・「学びたい度」90%以上
- 研修の充実と授業の相互公開
 - ◎「思考力・表現力・判断力」の向上
 - ・一人1授業の実践公開
- 家庭学習と読書活動の充実
 - ・やる気の出る家庭学習の工夫
 - ・家庭の読書習慣化
- 特別支援教育の充実
 - ・妥当性と見通しのある指導・支援の工夫

体力向上と安全意識

- 運動を好み楽しむための指導
 - ・楽しい運動の日常化
 - ・満足感のある運動時間の確保
- 立腰と鉛筆・箸の持ち方の常時指導
 - ◎自ら意識する立腰姿勢の徹底
 - ・「鉛筆の正しい握り方」達成全学年 90%以上
- 望ましい生活習慣と感染症予防
 - ◎手洗い、マスク着用など感染予防策の徹底
 - ・諸検査に基づく治療等の推進（80%以上）
- 危険を回避する意識の向上
 - ・実践的な防災、安全指導の充実

活気ある地域学校協働活動

- 学校運営協議会の運営の工夫
 - ◎保護者や地域の声を生かす運営
 - ・南校区まちづくり協議会との連携
- 地域人材を生かした活動の活性化
 - ◎「花咲かせ隊（仮称）」の設立
 - ・地域人材によるキャリア教育
 - ・KSSVC との連携と活用

よい行いを実行する力と思いやり

- よりよい学校づくりのための主体的な活動
 - ・係、委員会、ボランティア活動の充実
- ◎環境美化活動の充実（清掃、整理整頓、花植等）
- 基本的生活習慣の重点的育成
 - ◎「返事・あいさつ・整理整頓」の徹底指導
- 問題行動、いじめ、不登校への対応
 - ・問題行動への即時対応
 - ・児童の人間関係の継続的見守り
 - ・不登校傾向児童に寄り添う対応
- 道徳教育、人権教育の充実
 - ・望ましい人間関係と言語環境づくり
 - ・道徳科教育の充実

望ましい食習慣と「豊かな食」への意識

- 家庭、地域と連携した指導の充実
 - ◎食習慣への意識を高める資料提供
 - ・地域人材・食材等を活用した食の指導
- 自らの食を意識する活動の充実
 - ・発達段階に応じた「弁当の日」の取組
 - ・食に関わる人へ感謝する活動
- 給食指導と食事マナーの徹底
 - ◎給食準備、食事、片付けの衛生管理
 - ・バランスよく食べる習慣や食べ残しの減量

目標を共有した一貫教育

- 幼保小中の連携充実
 - ・小林中校区一貫教育（学力）の実践研究
 - ・幼保教育の理解と連携活動

子どものための働き方改革

- 推進体制の構築と確実な実践
 - ◎新校務支援システムの効果的活用